



井奥まさきの ニュース 市政報告NEWS

2005・12

師走号

(通算43号)

このNEWSは、みどり・市民派をめざす高砂市議会議員井奥まさきによる市政レポートです。

田村市長！本当に反省していますか？

高砂市議 井奥まさき

市税等の公金横領で遂に元市職員が逮捕！

平成17年度に発覚した職員の不祥事

- (1) 市税等の公金横領
(500万円以上)
- (2) 市営住宅工事の不当発注
- (3) 新たなる公金横領

最初の公金横領者が逮捕

今年度に入って3つの事件が起きていることは前回報告しました。そのうちの最初の事件でついに逮捕者が出ました。逮捕劇はこれからも続くでしょう。もう一つの公金横領事件については1月くらいをめどに最終報告が行われるようです。「横領を調査していた職員が横領」「最初の調査時点であった領収書が紛失」という、最初の事件より大きな闇が秘められています。

いずれにしても、滞納者がなけなしの財産から支払ったお金を横領するという許せない事件。やっぱりおかしい！

市役所の体質改善が必要

11月臨時議会での報告で、特に重要なのは次の2点です。
(1) 国保・市税部門をチェック対象から除外

(2) 幹部職員が業者や住民と組織的に飲食会を実施

国保・市税部門は平成13年[2001]の文化会館横領、平成17年[2005]のあすなる公金盗難事件での全庁チェックでも対象から除外されていました。また「利害関係者との付き合いを慎むこと」という通達が毎年出されているにもかかわらず、組織的飲食会はなくなりませんでした。

これでは、いくら頭を下げられても信用できません。市役所の体質改善が必要です。市長の反省は「一山いくら」田村市長は「10%6か月」の減給案を提案しました。「3つ

神戸新聞 2005.1.26 抜粋

の事件、あすなる学園盗難事件」をまとめてというのですから乱暴です。議会では「一山いくら」と厳しい意見が出ました。そして、謝罪の記者会見で上のありさまで。逆境でこそ人間性が問われます。真摯な反省とそれを活かした行動が今こそ必要なのですが。

特殊勤務手当 時代はずれの増額提案

おかしい特殊勤務手当の改正提案

いまだき増額

- ・清掃業務手当 (1200万増額)
従事職員 日額 1000円 1500円
- ・看護手当 日額 3000円 5000円
(加古川市では減額もしくは「なし」で高砂市より低い水準)

国からの改善指摘(他の手当や給料の勤務内容と重複)が温存

- ・主任手当
- ・交代勤務手当
- ・年末年始手当 など

12月5日より始まった12月議会で特殊勤務手当の改正が提案されています。いくつか前進があります。そこは評価しますが、左の表のように納得できない部分がたくさんあります。

一番おかしいと思うのは、田村市長が職員組合との交渉に一度も出席しなかったことです。本当に改正に取り組む

気があるのなら、市長自ら改正にかける思いを職員達に語りかけるべきではないでしょうか。

「他市なみ、国県なみ」で福祉は切り捨ての行政。そして、一方では一部の職員に「他市以上の厚遇」。職員間の公平、民間との差をもっと考えるべきです。

井奥の提言 ▶ こうすべき

手当は基本はゼロ 市長は市民の感覚で自ら交渉すべき

0～3歳の保育ニーズに対応すべき

子育て先進市のために子ども施策にこそ予算増を

子育て先進市は高砂の伝統

私は高砂市の「保育所待機児童ゼロ」を誇りにしていました。保育所の数は他市よりもはるかに多い充実ぶりです。

これも市民ニーズを受けて伝統的に議会も行政も力を入れてきた成果だと思います。

しかし、時代が移り、「3歳児未満」「延長保育」「ショートステイ」の新たな需要が増えているにも関わらず、十分な対応ができていないようです。

この分野では逆に公立が民間保育所に先行されている始末です。自分の娘を持ち、実際に保育所を当たってみてその実態にがくぜんとしました。

新しいニーズに対応を

表を見れば一目瞭然です。3歳児までは3割以下の人数しか入所

できてません。これは、保育士の数が低年齢ほど必要(5歳児は30人に一人、0歳児は3人に一人)という理由が大きいようです。娘の入所申し込みで「3歳児以下はすぐには無理ですよ」と言われてしまいました。

結局、高砂市の「待機児童ゼロ」は「入り口でアキラメた人」をカウントせず、「1年越していつかは入れる」という実態なのです。これでは仕事にすぐに就きたい人、育児休暇明けで早く復職したい(主に)女性のニーズに対応できていません。

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
入所児童	44	186	258	594	675	515
全児童数	852	957	952	997	978	994
入所率	5%	19%	27%	60%	69%	52%

子育て先進地の伝統復活を

そして、今や「他市なみ」という田村市長の理念の無さでせつかくの先進施策は後退しています。私は「子育てするなら高砂市」というまちづくりを目指して、子ども施策にこそ予算を使うべきと思います。

井奥の提言 ▶ こうすべき

0～3歳は民間とも連携し、100人程度の受け入れ増をファミリーサポート事業(有償ボランティアによる支援制度)の実施を子育て先進市を目指し、子ども施策にこそ予算を使うべき

決算委員会経過報告

異常な時間外労働の発生

昨年度(16年度)を振り返る決算委員会が開催されています。いくつかのテーマを設定して議論をしていますが、今回は「異常な時間外」について。いくつかの部署で平均よ

巨大な時間外労働のウラには

り極めて高い時間外が発生しています。特に本庁外での発生が目立ちます。議論の中で管理職がきちんと時間外労働のコントロールをしていない実態が明らかになりました。追って報告します。

「管理職の怠慢」あり

部署別最高時間外と平均(時間外手当は万で切り捨て)

病院	1108時間	291万円
(医師をのぞく)		
水道	679時間	226万円
本庁	528時間	130万円
平均	131時間	35万円

市民からの指摘

高砂地区の葬祭場建設

駅前新聞を配布していると、いろんなことで声をかけられます。高砂駅前の葬祭場建設について質問を受けたので、委員会で経緯を明らかにして問題点を指摘しました。

この計画はNTT跡地に「やすらぎ会館」という名前で葬祭場を建設しようとするものです。平成17年【2005】5月

に民間の建築確認を受け、建設が承認されました。

ただ、地元自治会との話し合いがうまくいっておらず、説明会の開催も遅れがちになっています。規制緩和の流れの中、法律上では営業開始を止める手段はないようです。ただ、中筋地区にも大和会館の建設が進んでいます。あま

り多くの葬祭場が建設されるのが良いのかどうか。バスの迂回ルートなど従来の取り決めが守られるのかどうか。高砂駅南地区開発構想との整合性などさまざまな問題があります。そして、何より地元住民に十分な説明をする必要があります。

行政は理念を持ってもっと主体的に関わるべきです。

イベント情報

まちづくり協議会は、毎月第三土曜日午後2時～中央公民館を定例会とします
まちづくり連続市政勉強会 1月21日(土) テーマ 公務員の手当、市民病院の経営

市営住宅で空き家への不法入居が5件も判明。しかも長年の放置の結果と判明。この市に必要なのは「見て見ぬふりをただす正義感」です。

姉歯設計で有名になったように、建築確認業務が「民営化」されています。行政がよほどしっかりしないと民間の無責任さが増大します。